

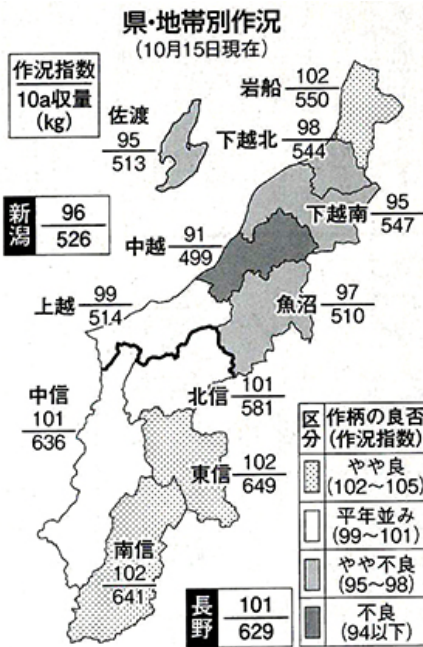
自由作付けの大波到来!平成30年対策は必至

農地集約・規模拡大には多品種栽培を!

平成30年対策は実需者との契約栽培でリスク低減し経営安定化

生産者通信

NPO法人
米ニケーションセンター
定価 100円(送料込)



昨年、凶作から一転して冷夏、凶作。中越地域では平成の大凶作以来の作況指数91。繰り返される異常気象は、過去の経験では対処できない事態です。新潟県内でも作況が91とばらつきが極地的な異常気象はどうすることもできません。単年の作柄や価格に

一喜一憂せず、経営安定のために実需者との契約栽培により、播種前に販売先を確保しましょう。品種も早生から晩生まで、新しい品種も育成されているので要検討です。これからの米のキーワードは「健康」と「美容」です。低グルテン米(消化性タンパクが半分)、高アミノ酸(米、巨大胚芽米等、高齢化社会、未病の食生活に合う米)もありま

コシヒカリにこだわらず新たな米への挑戦をしましょう!



加賀の井酒造復活へ

来年3月の仕込み再開を目指し急ピッチで工事



完成予想図



急ピッチで進む基礎工事

昨年末の糸魚川大火で全焼した加賀の井酒造(株)の再建工事が急ピッチで進んでいます。江戸時代に建てられた蔵は最新式の醸造設備になりながら、外観は加賀藩の御殿様が本陣にした面影を残しています。

生産者の皆様の熱烈なご支援で、再建の目途がまだ立たない播種前の2月から、加賀の井酒造向けの平成29年産米の作付けを決定!

たかね錦、越淡麗、五百万石、そして、加工米は蔵の再建を待つばかりです。蔵が再建したら、銘酒「加賀の井」を味わいましょう!